

- 問1 江戸時代の古地図と現代の地形図を比較する学習において、現在の特許庁や外務省などが立地している江戸城西の丸の東側のエリアに注目しました。当時のこの場所の主な土地利用の形態として、古地図から読み取ることができるものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 徳島公立入試 類似)
1. 果樹園 2. 広葉樹林 3. 針葉樹林 4. 茶畑
-
- 問2 埼玉県や千葉県など、東京23区に隣接する地域では、昼間人口を夜間人口で割った数値(昼夜間人口比率)が100%を下回る自治体が多く見られます。このような数値を示す地域の特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 三重公立入試 類似)
1. 都心へ通勤・通学する人々の居住地としての役割が強く、郊外に住宅地が広がっている。 2. 大規模な工業地域が形成されており、日中に他地域から多くの労働者が流入している。 3. 大学や研究機関が駅前に集中しているため、昼間に流入する学生の数が居住者数よりも多い。 4. 商業施設や官公庁が密集しており、近隣の自治体から買い物客や利用者が非常に多い。
-
- 問3 千葉県木更津市の沿岸部において、かつての地形図では海であった場所に「築地」という地名や大規模な工場、港湾施設が確認できるようになった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 工業用地を確保するために、遠浅の海を埋め立てて人工的な陸地を造成したため。 2. 地球温暖化による海面低下の影響で、もともと海底だった場所が自然に陸地化したため。 3. 大規模な干拓事業によって、農用地としての利用を目的に海水を抜き取ったため。 4. 地震による地盤の隆起によって、かつての浅瀬が広大な平地へと変化したため。
-
- 問4 関東地方における千葉県と埼玉県の工業的特色について述べた文として、製造品出荷額の内訳から読み取れる正しい説明はどれですか。千葉県は石油・石炭製品と化学工業が全体の約4割を占め、埼玉県は輸送用機械器具が約2割を占めている状況を踏まえて答えなさい。 (2026年 福島公立入試 類似)
1. 千葉県は京葉工業地域に属し、臨海部という立地を活かした石油・化学工業が盛んである一方、埼玉県では輸送用機械の製造割合が高い。 2. 千葉県は内陸の工業団地を中心に輸送用機械の製造が盛んであり、埼玉県は東京湾沿いの立地を活かして石油・化学工業が発展している。 3. 千葉県は食料品工業が製造品出荷額の約4割を占める最大の産業であり、埼玉県では鉄鋼業が約2割を占めて産業の中心となっている。 4. 千葉県と埼玉県はともに北関東工業地域に含まれ、共通して鉄鋼業や食料品工業の製造割合が最も高いという特色を持っている。
-
- 問5 関東地方の東京都のような巨大な消費地の周辺において、移動距離の短さを活かし、鮮度が重要となる野菜や鶏卵などを生産・出荷する農業の形態を何といいますか。 (2026年 福島公立入試 類似)
1. 近郊農業 2. 促成栽培 3. 抑制栽培 4. 施設園芸農業
-
- 問6 日本の空港間における旅客輸送数の統計において、新千歳空港や那覇空港、大阪国際空港など全国各地の主要空港と結ばれる航空路線のうち、圧倒的に大きな輸送数を示し、日本の国内航空網の最大の拠点となっている空港の名称として正しいものはどれですか。 (2022年 香川公立入試 類似)
1. 成田国際空港 2. 東京国際空港(羽田空港) 3. 関西国際空港 4. 中部国際空港
-
- 問7 日本には海に面していない「内陸県」が8つ存在します。そのうち、関東地方に位置し、日光市などの著名な観光都市や豊かな山岳地帯を擁する県を次の中から選びなさい。 (2020年 三重公立入試 類似)
1. 栃木県 2. 山梨県 3. 長野県 4. 滋賀県
-
- 問8 1960年と2014年の日本の製造品出荷額等の統計を比較したとき、北関東工業地域に関する記述として正しいものはどれか。なお、1960年時点の全国の総出荷額は約15兆円、2014年時点は約307兆円であるものとする。 (2018年 高知公立入試 類似)
1. 全国の出荷額が大幅に増大する中で、北関東工業地域の占める割合も約3倍に拡大した 2. 全国の出荷額が減少傾向にある中で、北関東工業地域のみが生産額を維持した 3. 北関東工業地域は1960年時点で既に全国最大の割合を占めており、その後維持された 4. 高速道路の整備が遅れた影響で、北関東工業地域の出荷額の割合は1960年より低下した
-
- 問9 関東地方の各県における工業統計を示した資料において、栃木県の状況を説明した記述として最も適切なものはどれか。 (2022年 兵庫公立入試 類似)
1. 北関東工業地域に位置し、2019年時点の統計でも電気機械器具の出荷額が輸送用機械器具と同等の高い数値を示している。 2. 京浜工業地帯の中核として、金属工業や印刷・製本業の出荷額が全国で最も高い水準にある。 3. 京葉工業地域に含まれ、出荷額の大部分を鉄鋼業と石油化学工業が占める典型的な臨海型工業の構造を持つ。 4. 北関東の内陸部に位置しているが、原材料の輸入に依存するため、鉄鋼業が電気機械器具を上回る主要産業となっている。
-
- 問10 成田国際空港などの拠点で行われる「航空貿易」において、半導体などの電子部品や医薬品が主要な取引品目となっている理由として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
1. 製品が重量のわりに価格が高い「高付加価値」なものであり、輸送時間の短縮が重視されるから 2. 製品の形が複雑であり、船舶のコンテナに積み込むことが技術的に困難だから 3. 国内の港湾施設が老朽化しており、精密機械を安全に積み下ろすことができないから 4. 航空機は船舶に比べて一度に大量の物資を運べるため、輸送コストを最小限に抑えられるから
-
- 問11 茨城県は野菜の産出額が全国でもトップクラスですが、その背景として、東京などの大都市に近い立地を活かし、新鮮さが求められる農産物を生産して速やかに出荷する農業が行われています。このような農業形態を何といいますか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
1. 近郊農業 2. 促成栽培 3. 抑制栽培 4. 適地適作
-
- 問12 関東平野などで盛んな近郊農業が、他の地域の農業と比較して有利な点について述べた説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 兵庫公立入試 類似)
1. 輸送距離が短いと、輸送費を抑えつつ野菜の鮮度を保ったまま出荷できる点。 2. ビニールハウスなどを利用し、冬の温暖な気候を活かして他の地域より早く出荷できる点。 3. 広大な土地と大型機械を活用することで、労働力をかけずに大量生産ができる点。 4. シラス台地のような火山灰地特有の土壌を活かし、大規模なかんがい施設を利用できる点。
-
- 問13 京浜工業地帯に位置する神奈川県において、製造業が盛んで製造品出荷額等が非常に高い水準にあるにもかかわらず、全就業者数に占める第3次産業の割合が約78パーセントと突出して高くなっている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 愛知公立入試 類似)
1. 人口が密集しており、都市化の進展に伴って商業やサービス業、企業の管理部門などの機能が高度に集積しているため 2. 広大な平野を活用した大規模な稲作が行われ、そこから得られた収益がすべて観光業に再投資されたため 3. 県内の大部分が山地で占められており、平地における工業生産を断念してIT産業への特化を進めたため 4. 伝統的な手工業が衰退した代わりに、海外からの輸入商品を専門に扱う物流拠点が県内の全産業を追い越したため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 果樹園	江戸時代の古地図には当時の土地利用を示す記号や名称が記されており、江戸城西の丸の東側には果樹園が広がっていたことが示されています。このように古い地図と現代の地形図を照らし合わせることで、現在の官公庁の敷地や道路網が、かつての屋敷跡や特定の土地利用の境界線を土台として形成されていることが理解できます。
問2	答え 1 都心へ通勤・通学する人々の居住地としての役割が強く、郊外に住宅地が広がっている。	昼夜間人口比率が100%を下回るということは、その地域から外部（都心など）へ出ていく人の方が、外部から入ってくる人よりも多いことを意味します。埼玉県、千葉県、神奈川県などの地域は、都心へ通勤・通学する人々のための住宅地、いわゆる「ベッドタウン」としての性格が強いため、昼間は人口が減少し、夜間に帰宅する人々によって人口が増えるという構造になっています。
問3	答え 1 工業用地を確保するために、遠浅の海を埋め立てて人工的な陸地を造成したため。	木更津市の沿岸部における変容は、人為的な「埋め立て」によるものです。1960年代以降、日本の工業化を進める中で大規模な工場用地が必要となり、東京湾の遠浅な地形を利用して埋め立てが行われました。これにより、もともと海だった場所に工場や発電所が建設され、工業都市としての景観が形成されました。干拓は主に農用地（水田）を作ることを目的とするため、工業用地主体の木更津市の事例には当てはまりません。
問4	答え 1 千葉県は京葉工業地域に属し、臨海部という立地を活かした石油・化学工業が盛んである一方、埼玉県では輸送用機械の製造割合が高い。	千葉県は東京湾沿いに広がる京葉工業地域の中核を担っており、大型船による原料の輸入に便利な臨海部の特性を活かして、石油精製や化学工業が高度に発達しています。対して埼玉県は、内陸という地理的条件から、高度な加工・組み立て技術が必要とする輸送用機械（自動車など）の工場が多く進出しており、両県で対照的な産業構造が見られます。
問5	答え 1 近郊農業	大都市の周辺という立地条件を最大限に活用した農業形態です。消費者に近い場所で生産することで、収穫から店頭までまでの時間を短縮できるため、鮮度が品質に直結する生鮮野菜や卵などの生産が盛んに行われています。
問6	答え 2 東京国際空港（羽田空港）	東京国際空港（羽田空港）は、東京都心へのアクセスが非常に良く、日本の国内航空網におけるハブ（拠点）空港として機能しています。統計上の旅客輸送数では、新千歳（札幌）―羽田間や福岡―羽田間などは世界でもトップクラスの利用者数を誇ります。成田国際空港は主に国際線の拠点としての役割が強く、中部や大阪（伊丹）などの地方拠点空港と比較しても、羽田空港の国内線輸送規模は突出しています。
問7	答え 1 栃木県	関東地方にある内陸県は、栃木県、群馬県、埼玉県の3県です。山梨県、長野県、滋賀県も内陸県ですが、中部地方や近畿地方に属します。栃木県は日光市を中心に観光業が盛んであり、首都圏からのアクセスも良いため、多くの観光客が訪れます。
問8	答え 1 全国の出荷額が大幅に増大する中で、北関東工業地域の占める割合も約3倍に拡大した	日本の製造品出荷額が全体として15兆円から307兆円へと巨大化する中で、北関東工業地域のシェアは3.3%から9.2%へと成長しました。これは、既存の京浜工業地帯などのシェアが低下する一方で、北関東が新たな日本の工業の拠点として重要な地位を築いたことを示しています。
問9	答え 1 北関東工業地域に位置し、2019年時点の統計でも電気機械器具の出荷額が輸送用機械器具と同等の高い数値を示している。	栃木県は内陸に位置する北関東工業地域の一角を担っており、広い工場用地と発達した道路網を活かした工業展開がなされています。統計上、神奈川県や千葉県のような臨海部の重化学工業（鉄鋼や石油化学）が中心の県とは異なり、輸送用機械や電気機械といった加工組立型の工業が非常に強いことがデータからも読み取れます。特に電気機械器具は、栃木県工業を支える大きな柱の一つです。
問10	答え 1 製品が重量のわりに価格が高い「高付加価値」なものであり、輸送時間の短縮が重視されるから	航空輸送は船舶輸送に比べて運賃が高いため、運賃を負担しても利益が出る「高付加価値製品（軽量で高価なもの）」が適しています。また、半導体のような技術革新が速い製品や、人命に関わる医薬品などは、輸送期間を短縮することに大きなメリットがあるため、航空貿易が積極的に利用されます。
問11	答え 1 近郊農業	大都市の周辺で、交通網の発達を利用して野菜や花きなどを生産し、鮮度が高い状態で消費地へ届ける農業を近郊農業と呼びます。茨城県は、常磐自動車道などの高速道路網を活用することで、収穫から短時間で市場へ輸送できる地理的優位性を持っており、これが野菜や畜産の高い産出額を支える要因となっています。
問12	答え 1 輸送距離が短いため、輸送費を抑えつつ野菜の鮮度を保ったまま出荷できる点。	近郊農業の最大の利点は、市場である大都市までの距離が近いことです。これにより、トラック輸送のコストを低く抑えられるほか、鮮度が落ちやすい葉物野菜などを新鮮な状態で消費者に届けることが可能になります。冬の温暖な気候を利用するのは「促成栽培」の特徴であり、広大な土地の利用はアメリカなどの「大規模農業」、シラス台地の利用は九州地方（南九州）の農業の特色です。
問13	答え 1 人口が密集しており、都市化の進展に伴って商業やサービス業、企業の管理部門などの機能が高度に集積しているため	神奈川県は日本有数の人口密度を誇り、横浜市などの大都市を中心に経済活動が極めて活発です。京浜工業地帯を擁する工業県としての側面を持ちつつも、消費地に近い利点を生かした卸売・小売業や、都市型サービス業、さらには企業のオフィス機能が集まることで、第3次産業の比率が極めて高い産業構造となっています。これは、高度経済成長期以降の産業構造の転換と都市化が顕著に表れた姿といえます。